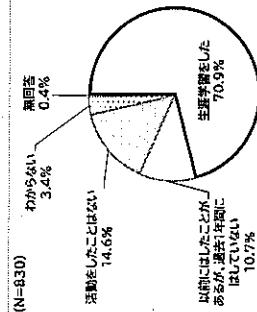


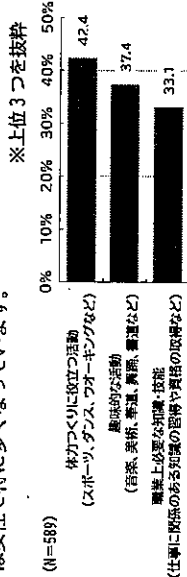
結果の概要

■生涯学習の状況について

○この1年間で生涯学習を行ったという人は、70.9%となっています。場所や形態に関して「情報端末やインターネット」が40.0%と最も多く、次いで「自宅での学習活動（書籍など）」が29.6%、「職場の教育、研修など」が26.1%となっています。



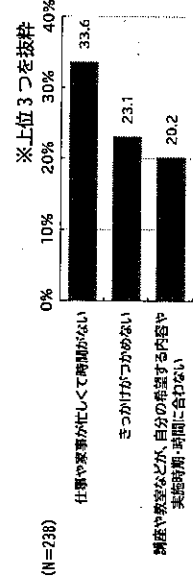
○行った生涯学習の分野については、「体力づくりに役立つ活動（スポーツ、ダンス、ウォーキングなど）」が42.4%と最も多く、続いて「職業上必要な知識・技能」「パソコン・インターネットに関すること」は男性で特に多く、「家庭生活に役立つ技能」は女性で特に多くなっています。



○生涯学習を行う主な時間帯は、平日の割合が高くなっています。前回調査では土日の割合が高くなっており、ライフスタイルの多様化などにより前回調査から変化していることがわかりました。

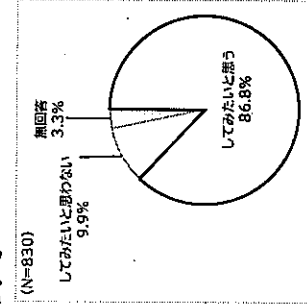
○生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などをどのように生かしているかについては、「家庭・日常生活で生かしている」が51.8%と最も多く、続いて「自身の生活や仕事などで生かしている」という人が多く、他の人の学習や活動などの指導に生かしている人は少ない状況です。

○生涯学習をしなかった人の理由としては、仕事や家事が忙しくて時間がない」が33.6%と最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が23.1%、「講座や教室などが、自分の希望する内容や実施時期・時間に合わない」が20.2%となっています。

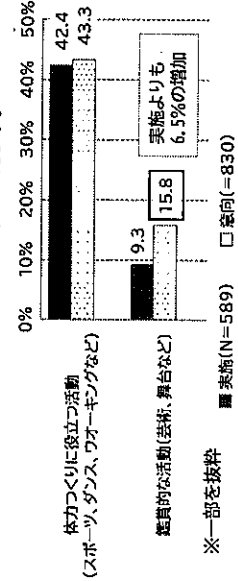


■生涯学習に対する今後の意向について

○今後何らかの生涯学習を行ってみたいと考えている人は、86.8%となっています。この1年間の生涯学習の状況と比較すると、今後行ってみたいと考えているけれども、現在は行っていない、行えていないという人が約16%存在していることがわかります。

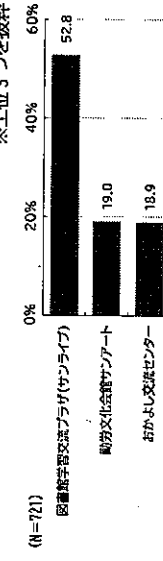


○今後行ってみたい分野については、実施状況と同様に「体力づくりに役立つ活動（スポーツ、ダンス、ウォーキングなど）」が43.3%と最も多くなっています。一方で、「経費的な活動」については、他の項目と比べて実施よりも意向での割合の増加がみられ、ニーズはあられるけれども実施に至っていないことがうかがえます。



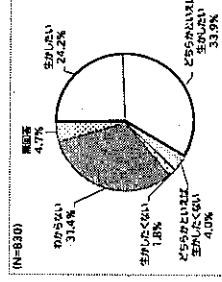
○今後生涯学習を行うときの場所や形態については「情報端末やインターネット」が46.7%と最も多く、次いで「生涯学習センターなどの公的な場所における講座や教室」が33.3%となっています。この1年間の生涯学習の状況と比較すると、「生涯学習センターなどの公的な場所における講座や教室」における今後の生涯学習活動を、多くの人が望んでいることがわかりました。

○今後利用したい施設についても「図書館交流プラザ(サンライズ)」が52.8%と最も多くなっています。



■生涯学習の成果について

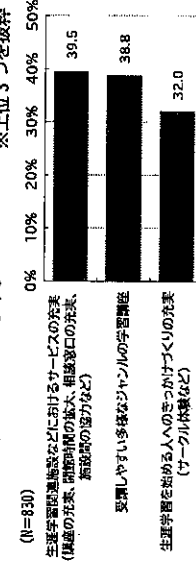
○生涯学習で身に付けた知識や技能などを自分以外に生かしたいという人は、6割程度となっています。年齢別にみると、生かした最も高く、年齢層が上がるにつれて割合が低くなっています。



○生かしたいと考えている人のうち、身に付けた知識や技能などをどのような場所・機会に生かしたいかについて「趣味・サークル活動」のようなど多岐にわたる必要となることについて「同じ分野に興味のある人との交流」となっています。

■生涯学習の振興について

○今後の生涯学習を活発にしていくために、市で力を入れていくべきこととして「生涯学習関連施設におけるサービスの充実」「受講しやすい多様なジャンルの学習講座」「生涯学習を始める人へのきょうけづくりの充実」を望んでいます。



調査概要

■調査対象

みよし市在住の15歳以上の2,000名を無作為抽出

■調査時期

令和3年7月21日(水)～8月6日(金)

■調査方法

郵送による配布・回収

■回収状況

配布数	2,000件
有効回収数	830件
回収率	41.5%

■調査項目

- 1.あなたご自身について
- 2.生涯学習の状況について
- 3.生涯学習に対する今後の意向について
- 4.生涯学習の成果について
- 5.生涯学習の振興に向けて